



仕送りゼロ 下宿生1割超

親元からの仕送り額は「ゼロ」と答えた下宿する大学生が10%を超えたことが10日、全国大学生協連（東京）の学生生活実態調査で分かった。10%を超えたのは、データが残っている1970年以來初めて。長引く不況が学生生活を直撃している実態が浮かび上がった。調査は昨年10～11月に全国の31大学で実

生協連調査

施、9660人が回答した。仕送りが無いと答えた下宿生は前年の8.3%から10.2%に上昇。下宿生が受ける仕送りに平均額は月7万4060円で、バブル期前の83～84年のレベルにまで落ち込んだ。過去最高だった96年の10万2240円からは27.6%も減少した。一方、奨学金の受給者は37.2%で、金額も6万6500円と初めて6万円台を突破、奨学金に頼らざるを得ない実情が見て取れた。

不況直撃、支出も減少

で、76年以降最低の水準になった。またこの10年間で「運転免許取得」は21.9%から16.6%になった。「耐久消費財の購入」は31.7%から21.4%に落ち、「帰省」も47.9%から40.5%に減少、親元から足を遠のさせる結果となった。この1年で親の経済状況の変化が「自分の生活に影響を与えた」という学生は14.3%。

2010年2月11日

京都新聞より

「USAGI通信はメールでの送信も可能です。メールでの送信をご希望の方は弊社ホームページ<http://3215.co.jp/>からメールアドレスをお知らせ下さい。」